

【資料 1】

令和 5 年 2 月 7 日
鳥取市保健所

令和 5 年度鳥取県医療介護総合確保基金（医療）の圏域要望に係る提案と対応方針（案）

【照会内容】

令和 5 年度地域医療介護総合確保基金事業について、令和 4 年度事業メニューにない事業及び各事業者単体では取組が難しく、圏域として提案したい事業等について地域医療構想調整会議委員（地域保健医療協議会全体会議及び医療提供部会）に照会した結果、中央病院から以下の事業について提案があり、先の協議会にて事業内容の説明を行った。

【提案内容と対応方針等】

No.	委員からの提案内容	対応方針等（案）
1	東部圏域での血管造影、血管内治療の専門的な救急医療体制の整備（中央病院） ・救命救急医療の向上と機能充実に向け、超高精細透視が可能でより精度の高い画像が得られる血管撮影装置を導入する [提案：県立中央病院]	・先の第 1 回地域医療構想調整会議開催後、東部圏域の県立中央病院と 2 次救急医療機関（市立、日赤、生協、岩美、智頭）での協議合意が図られた事業であり、県福祉保健部に対して圏域要望として提案します。 [以下“令和 5 年度地域医療介護総合確保基金（医療）における東部圏域提案事業（案）”のとおり]

令和 5 年度地域医療介護総合確保基金（医療）における東部圏域提案事業（案）

【事業対象となる保健医療圏】

東部保健医療圏

【事業の分類】

① 地域医療連携の達成

【事業の実施主体】

鳥取県立中央病院

【背景ならびに医療ニーズ】

○現状

- ・県立中央病院は、東部圏域における高度急性期医療を担い、救命救急専門医の確保により 3 次救急の機能強化（24 時間体制）を図っている。
- ・東部圏域唯一の心臓病センター、脳卒中センター、救命救急センターを有し、人員不足の中 24 時間体制で心臓・脳・出血等に対する血管造影、血管内治療を行い、東部圏域救急患者の最後の砦として尽力している。
- ・令和 2 年度は東部圏域診療実績で超急性期である脳卒中の 6 割、急性心筋梗塞の 5 割に加え、令和 3 年度には救急での外傷性出血（骨盤内出血含）の全例を担っている。さらに吐血、下血、喀血などの出血、婦人科系の出血においても圏域の相当数の症例を担っている。
- ・東部圏域保健医療計画における脳卒中对策、心筋梗塞等の心血管疾患対策、救急医療の各分野の課題・対策において、県立中央病院が持つ上述各センターの機能を含め、医療機関や関係機関の連携が挙げられている。

○課題・ニーズ

- ・今後、東部圏域の３次救急の充実を進める中で循環器対策、出血対策の充実が必須となっているが、県立中央病院現有の血管撮影装置ではCT、MRIと重ねて構築する３Ｄ画像を用いたナビゲーションができず、長時間の被爆で患者や術者に過度の負担を強いている。
- ・また、微小血管が描出しにくく完全な止血ができない場合があるなど、県立中央病院の救急機能の役割が充分果たせない状況である。
- ・より高精細な画像が得られ、ナビゲーションが可能となる血管撮影装置を導入することにより、被ばく量が減少（２～３割）し、微細血管もより描出できるようになり、県立中央病院での診断・治療がより充実することが期待される。
- ・当該機器の導入により、血管撮影や血管内治療等が必要であるにもかかわらず、圏域内の他病院では十分な対応ができないと思われる心筋梗塞や外傷性出血患者の血管内治療や血管塞栓療法等に対しても、県立中央病院において今まで以上に的確で迅速な診断・治療ができるようになることが期待され、東部圏域における病院間の役割分担がより明確となり、血管内治療等に関する医療機関や関係機関の連携体制の検討が促進され、病病連携のより一層の充実が期待できる。

【要望の内容】

事業名：血管造影、血管内治療の専門的な救急医療体制に係る医療連携事業

事業内容：救命救急医療の向上と機能充実に向け、超高精細透視が可能でより精度の高い画像が得られる血管撮影装置を導入する。

【アウトプット指標】

- 東部圏域の３次救急の機能が強化される。
- 東部圏域に在住する血管造影、血管内治療等が必要な患者（２次救急医療機関からの搬送含む）に対し、圏域内で治療が実施でき、前年度より域外運搬件数が減少する。
- 圏域内での治療が可能となることで、血管造影、血管内治療等に関する東部圏域における医療機関及び関係機関の役割と連携体制の検討を促進することができる。
- 県立中央病院で的確で迅速な診断・治療ができるようになることにより、血管造影、血管内治療等を処置した患者の予後、転院等、患者や家族の負担が軽減される。
- 東部圏域内での当該機器の共同利用により、圏域全体の医療の質の向上が図られる。

【事業費】

１億４千万円以上

【所要額の積算根拠】

- ・機器本体 １４１，９００千円（今回提案事業）
X線アンギオグラフィシステム
別紙見積のとおり
- ・付帯工事（自院にて対応予定）
天井補強工事、電気設備工事、LAN配線工事等 未定